

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

イタリアの名匠アンジェリコと
実力派声楽陣&新国立劇場合唱団で響かせる
“歓喜の歌”

第九



ソプラノ=中村恵理
Soprano= ERI NAKAMURA

メゾ・ソプラノ=清水華澄
Mezzo Soprano=KASUMI SHIMIZU

テノール=ダヴィデ・ジュスティ
Tenor= DAVIDE GIUSTI

バス=エギルス・シリンス
Bass= EGILS SILINS



合唱=新国立劇場合唱団
Chorus= New National Theatre Chorus

合唱指揮=水戸博之
Chorusmaster= HIROYUKI MITO



バイエルン国立歌劇場、ケルン歌劇場などを振り、
カッセル歌劇場の首席指揮者を務めている名匠
指揮=フランチェスコ・アンジェリコ
Conductor= FRANCESCO ANGELICO

©Giancarlo Pradelli

ベートーヴェン:交響曲第9番 二短調 作品125 「合唱付き」
BEETHOVEN: Symphony No. 9 in D minor, op. 125 "Choral"

読売日本交響楽団「第九」公演

第272回土曜マチネーシリーズ

2024 **12.14** (土) 14:00

東京オペラシティ コンサートホール

Saturday Matinée Series No. 272

Saturday, 14 December 2024, 14:00 Tokyo Opera City Concert Hall

第677回名曲シリーズ

2024 **12.18** (水) 19:00

サントリーホール

Popular Series No. 677

Wednesday, 18 December 2024, 19:00 Suntory Hall

第138回横浜マチネーシリーズ

2024 **12.15** (日) 14:00

横浜みなとみらいホール

Yokohama Matinée Series No. 138

Sunday, 15 December 2024, 14:00 Yokohama Minato Mirai Hall

第272回日曜マチネーシリーズ

2024 **12.22** (日) 14:00

東京オペラシティ コンサートホール

Sunday Matinée Series No. 272

Sunday, 22 December 2024, 14:00 Tokyo Opera City Concert Hall

SHINRYO presents「第九」特別演奏会

2024 **12.17** (火) 19:00

サントリーホール

SHINRYO presents Special Concert

Tuesday, 17 December 2024, 19:00 Suntory Hall

大成建設 presents「第九」特別演奏会

2024 **12.24** (火) 19:00

ミューザ川崎シンフォニーホール

TAISEI presents Special Concert

Tuesday, 24 December 2024, 19:00 MUZA KAWASAKI Symphony Hall



オルガン=大木麻理
Organ=MARI OHKI

※17日と24日のみ、前半に大木麻理による
オルガン演奏(約15分)を行います。

S¥10,000 A¥8,000 B¥6,500 C¥5,000

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター **0570-00-4390**
(10時~18時・年中無休)

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

【観覧券】(横浜みなとみらいホール) 株式会社 明日香 0120-165-115 (平日10時~17時/公演
3営業日前までに予約) ■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場でき
ます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整
理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご
購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできま
せん。あらかじめご了承ください。■未就
学児のご入場は、固くお断りいたします。 <https://yomikyo.or.jp/>

年末に響く、究極の「第九」！ 胸に迫る《歓喜の歌》

クラシック音楽の歴史に燦然と輝く不朽の名作、ベートーヴェンの交響曲第9番「合唱付き」。最終楽章で高らかに響く“歓喜の歌”は、国境や世代を超えて、人間愛や平和を謳ったメッセージとして、今も多くの人に感動をもたらす特別な魅力があります。「第九」はすべての人の心に寄り添い、新しい年への希望として響くでしょう。

今年は、バイエルン国立歌劇場など欧州のオペラハウスで活躍し、ドイツのカッセル歌劇場の首席指揮者を務めているイタリアの俊英アンジェリコが指揮台に上がります。パッションあふれるタクトで、ベートーヴェンの音楽の神髄に迫るでしょう。

ソリストとして、ウィーン国立歌劇場などで歌う中村恵理、読響と数々の名演奏を残している清水華澄、輝かしい声で欧州各地の観客を魅了するジュスティ、バイロイト音楽祭など世界の檯舞台で活躍しているシリンスの4人の実力派歌手陣が共演。日本が誇るプロ合唱団、新国立劇場合唱団とともに“歓喜の歌”を高らかに響かせます。年の瀬に至福のひと時をご堪能ください。



©Giancarlo Pradelli

フランチェスコ・アンジェリコ (指揮者)

FRANCESCO ANGELICO, Conductor

ドイツを拠点に、欧州各地の歌劇場やコンサートで活躍するイタリアの俊英。1977年、シチリア島のカルタジローネ生まれ。インスブルックのチロル響やチロル歌劇場の首席指揮者を歴任後、2017年からドイツのカッセル歌劇場の音楽総監督を経て、現在は首席指揮者の任にある。同歌劇場では、「ニーベルングの指環」「ヴォツェック」「運命の力」「ファルスタッフ」「イエヌーファ」など幅広いレパートリーを振り、高い評価を得ている。バイエルン国立歌劇場、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、シュトゥットガルト歌劇場、ケルン歌劇場、リンツ・ブルックナー管、トゥールーズ・キャピトル劇場、イェーテボリ歌劇場、モンテカルロ・フィル、MDRライプツィヒ放送響などに客演している。読響初登場。



中村恵理 (ソプラノ)

ERI NAKAMURA, Soprano

世界の一流歌劇場で活躍する歌姫。新国立劇場オペラ研修所を経て、2008年英国ロイヤル・オペラにデビュー。10年から16年にバイエルン国立歌劇場と専属契約し、「フィガロの結婚」「魔笛」「ホフマン物語」などで主要キャストを務める。これまでにウィーン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ワシントン・ナショナル・オペラ、ザルツブルク州立歌劇場、新国立劇場などに出演している。



©Mariko Tagashira

清水華澄 (メゾ・ソプラノ)

KASUMI SHIMIZU, Mezzo Soprano

読響と数々の名演奏を残している実力派。国立音楽大学大学院、新国立劇場オペラ研修所修了後、イタリアへ留学。新国立劇場「オテロ」エミーリア、「紫苑物語」(世界初演)うつろ姫、二期会「ローエン格林」オルトルート、「サロメ」ヘロディアスなどに出演し、高い評価を得ている。コンサートでは、ヴェルディ「レクイエム」、マーラー「復活」などのソリストを務める。二期会会員。



©Laura Broccoli

ダヴィデ・ジュスティ (テノール)

DAVIDE GIUSTI, Tenor

伸びやかな美声で欧州にて注目を浴びるテノール。2012年にペーザロのロッシーニ音楽祭のアカデミー公演で「ランスへの旅」ベルフィオールを歌い頭角を現し、17年にドミンゴが主催するコンクール「オペラリア」第2位入賞。ムーティ、チョン・ミョンフン、ナガノ、クルレンツィスらの指揮で、ジュネーヴ歌劇場、ボローニャ歌劇場、ボリショイ劇場、イェーテボリ歌劇場などで歌っている。



©Jānis Deinats

エギルス・シリンス (バス)

EGILS SILINS, Bass

世界の檯舞台でワーグナー作品などを歌い続けている巨匠。バイロイト音楽祭をはじめ、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、ベルリン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラ、チューリヒ歌劇場、ハンブルク歌劇場、東京・春・音楽祭などで、90を超える役を歌い、活躍している。現在、リトアニア国立歌劇場の総裁を務めている。

大木麻理 (オルガン)

MARI OHKI, Organ

東京芸術大学、同大学院修了。ドイツ学術交流会 (DAAD) 及びボセール財団の奨学生としてリュベック音楽大学とデトモルト音楽大学に留学。満場一致の最優秀で卒業。ブクステフーデ国際コンクール邦人初優勝、「プラハの春」国際音楽コンクール第3位など受賞多数。現在、ミューザ川崎のオルガニスト。



新国立劇場合唱団 (合唱)

New National Theatre Chorus, Chorus

水戸博之 (合唱指揮)

HIROYUKI MITO, Chorusmaster

至高のハーモニーで人類愛を歌う、読響「第九」のベスト・パートナー。新国立劇場で行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を展開し、高い評価を得ている。2023年10月にはアイスラー「ドイツ交響曲」で読響と共に演奏し、絶賛された。07年以来、読響「第九」公演に出演。

読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。現在、セバスティアン・ヴァイグレが常任指揮者を務めている。サントリーホールや東京芸術劇場などで多数の公演を開催するほか、小中学校や病院で演奏するなど、クラシック音楽ファンのすそ野拡大にも地道な努力を続けている。

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター: 0570-00-4390

(10:00~18:00・年中無休)

読響チケットWEB: <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可 *チケット郵送料無料

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

特別協賛: 新菱冷熱工業株式会社 (17日)、大成建設株式会社 (24日)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業 (公演創造活動))

独立行政法人日本芸術文化振興会 (14日、15日、18日、22日)

協力: 横浜みなとみらいホール (15日)